

びじゅつ 17マス

島根県立美術館 落合朗風展

ろうふう学習帳



17マス

びじゅつ

ねん くみ なまえ



開館25周年記念オリジナル企画展

落合朗風

明朗美術連盟と目指した世界

2024年9月20日(金)～11月4日(月・振休) 毎週火曜日休館

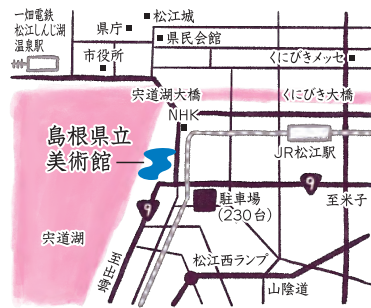
【9月】10:00～日没後30分 【10～11月】10:00～18:30

※展示室への入場は閉館時刻の30分前まで

■ スタンプを集めよう!

本書最終ページに平田本陣記念館で捺すことのできるスタンプ欄があります。二つのスタンプを集めた先着2,000名様にオリジナルポストカードをプレゼント(全4種、お一人様1枚まで)

● 島根県立美術館スタンプ欄



- 交通案内
- JR松江駅から徒歩約15分
 - JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分→「県立美術館前」下車
 - 観光ループバス「レイクライン」→「県立美術館前」下車
 - 山陰道→松江西ランプから車で約5分
- 駐車場
- 国道9号袖師交差点を南進(駐車場より地下道をご利用ください)※3時間まで無料

島根県立美術館
 〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
 TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>

落合朗風 画伯の一日

にほんがが日本画家であるわたしいちにち私の一日をしょうかい紹介します!



<p>1 6時半頃に起床</p>	<p>2 8時頃に飯を食べる</p>	<p>3 食後は制作に集中</p>
<p>4 疲れ果てた夕方</p>	<p>5 夜は乗客対応</p>	<p>6 11時頃に就寝</p>

明朗美術連盟とは?

どなたかわちしんぱく 友達の川口春波君と

つくったグループのこと。いまほわけんりつびじゅつかん 今なら島根県立美術館でわたしたちさくひん 私達の作品を見ることができます!!

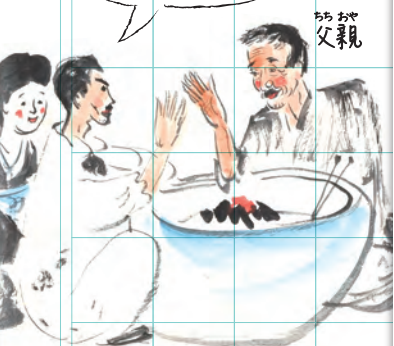
この間は美術評論家の大陽為三先生にお願ひし、
 顧問は美術評論家の大陽為三先生にお願ひし、
 『原爆の図』で有名な丸木位里君も参加して
 いたことがあります。岸藤ふち枝さんなど、
 女性の画家も参加していました。

挿図は落合朗風「落合信子宛書簡」当館蔵、落合朗風「写生帖断簡」個人蔵などを使用

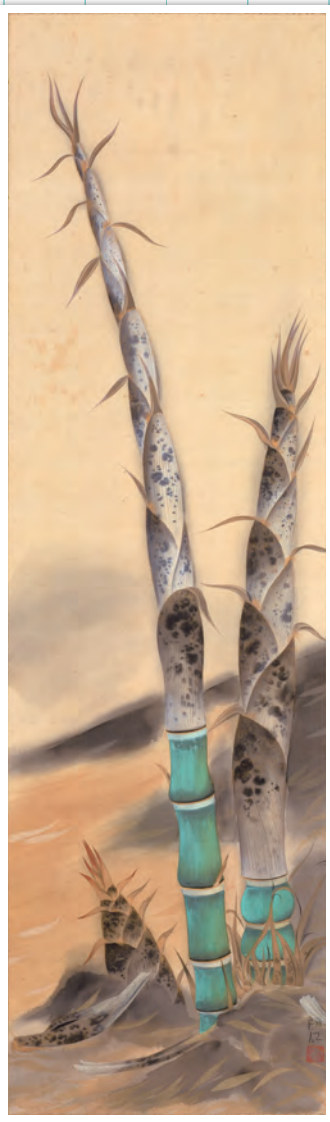
落合朗風《筍[雨後新篁図]》

しょうわ ねん へいたほんじん きねん かんざう
昭和2(1927)年、平田本陣記念館蔵

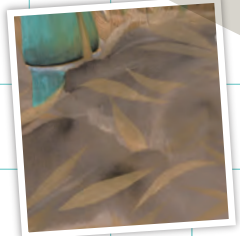
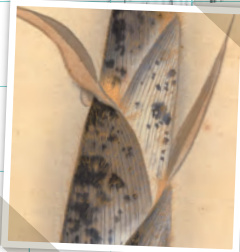
な ちちの いえ
てく になった父親の家に
は 生まれていたタケノコを
スケッチしました



ちちの 父親



たけのこ の 産毛まで
細かく描いています



地面に落ちたタケノコの
皮は、輪郭線を用いずに
薄っすらと



金色で描いているのは、
光が大地にあたっている
表現です



落合朗風《華嚴仙》

しょうわ ねん やまがた かき ほんざん ざうじざう
昭和6(1931)年、山形・鶴布山珍蔵寺蔵

とても大きな作品なので、
昭和14年には列車を貸し切って
山形から東京まで輸送しました

自分がそれまで出品していた
展示会では、大きすぎて
展示できませんでした

妻(信子)

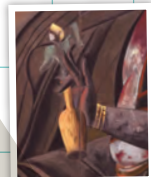


仙像の柔かな状態も
克明に描写しています



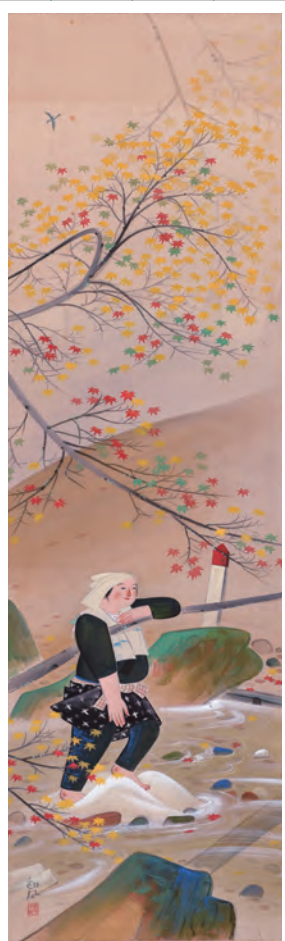
奥はここにも仙像の
後ろ姿を描く予定でした

この境目で屏風が閉まります
開く前はこんな形になっていました



奈良県の新薬師寺において、
実際の仙像をスケッチした成果です





11月10日(日)まで平田本陣記念館において
 展示している《洛外の秋》という作品です。
 どんな部分に興味をもったのか、書いてみましょう。
 ※平田本陣記念館の情報は次ページにのっています



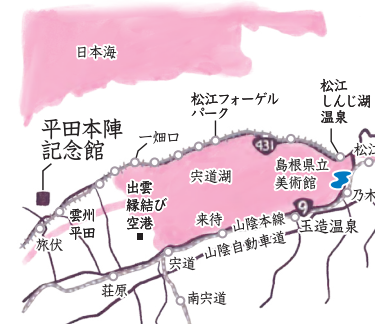
朗風と大雲展

2024年9月20日(金)～11月10日(日) 毎週火曜日休館
 午前9時～午後5時(展示室への入場は閉館時刻の30分前まで)

■ スタンプを集めよう!

本書巻頭ページに島根県立美術館で捺すことのできるスタンプ欄があります。二つのスタンプを集めた先着2,000名様にオリジナルポストカードをプレゼント(全4種、お一人様1枚まで)

● 平田本陣記念館スタンプ欄



- 交通案内
- 出雲空港から車で20分
 - 松江しんじ湖温泉駅から雲州平田駅まで一畑電車で移動し、雲州平田駅から車で5分、徒歩で30分

平田本陣記念館

〒691-0001 島根県出雲市平田町515番地
 TEL:0853-62-5090 FAX:0853-62-5101
<https://www.izumo-zaidan.jp/honjin>

ロウフウ学習図鑑

日本画家シリーズ

落合朗風



落合朗風(1896~1937)は、大正から昭和初期にかけて活躍した日本画家。朗風自身は東京生まれですが、父親が現在の島根県出雲市平田町出身であったこともあり、島根県ゆかりの画家として捉えられてきました。昭和9(1934)年には自らの主宰する美術団体・明朗美術連盟を川口春波とともに創設し、「日本画」の既成概念に一石を投じる先駆的作品を次々に発表していきました。

表紙の解説

落合朗風《洛外の秋》昭和7(1932)年、個人蔵

1932年4月に開催された第2回個人展覧会へ落合朗風が出品した作品。京都で生活していた時期に実際に目にした光景と考えられます。カラフルな色彩で紅葉を表現しています。

企画編集：五味俊晶(島根県立美術館)、五味朋子(平田本陣記念館)

執筆：五味俊晶

デザイン：森脇祥吾、石原萌(松陽デザインラボ)

印刷：有限会社松陽印刷所 発行：島根県立美術館

●つかい はじめ がつ にち

●つかい おわり がつ にち



島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>

本製品の表紙(キャラクターの絵柄等の第三者が著作権を有する部分を除く)は、ショウワノート株式会社の学習帳の立体商標に基づいており、本製品は、同社の許諾を受けております。